

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 山下 力 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成29年 7月21日（金）～22日（土）
場 所	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
目 的	地方議会研究会 役所を動かす質問の仕方 i n 東京

報 告 の 内 容	<p>◆研修概要</p> <p>演題：役所を動かす質問の仕方 基礎編 応用編</p> <p>講師：樋渡啓祐 氏（元 佐賀県武雄市長）</p>
	<p>【講師紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元武雄市長（36歳最年少市長）、東京大学経営学部卒。 ・佐賀知事選で落選後、樋渡社中（株）を設立。 ・一般社団法人全国空き家バンク推進機構（2017年6月設立）の理事長を務める。 ・武雄市立図書館は、TUTAYA図書館としてわずか一年でスピードオープン。 ・大きな赤字に悩まされていた市民病院の民営化では、リコール（解職請求）運動が起こり、自ら辞職して再選挙で勝利した。 <p>◆研修内容</p> <p>研修の主な項目を以下に示す。</p> <p>なお、<u>研修内容の詳細は成果資料として別途作成する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・住民は議会をどう見ているか <li style="width: 50%;">・住民は議員をどう見ているか <li style="width: 50%;">・職員は議員をどう見ているか <li style="width: 50%;">・首長は議員をどう見ているか

- ・ 議員は行政をどう見ているか
- ・ Q 1 「自治体には本当にお金が無い？」
- ・ Q 3 「自治体はスピードが遅い？」
- ・ Q 5 「なんでも公募や入札にすべき？」
- ・ 議会中継の必要性
- ・ 答弁調整の必要性
- ・ 良い質問
- ・ 役所で何が行われているか
- ・ 一般質問のネタ ※これまでの樋渡氏の取り組み紹介
(子ども保険、ふるさと納税、教育革命、防災、減災対策の処方箋、少子高齢化と健康施策の推進、空き家対策)
- ・ 円滑な議会運営のために
- ・ Q 2 「首長には絶大な権力がある？」
- ・ Q 4 「議員の提言は実現不可能？」
- ・ Q 6 「議員の給料は多い？」
- ・ 一般質問のあり方
- ・ ダメな質問
- ・ 一般質問の組み立て
- ・ 継続質問の意義

◆所感

今後の質問力を向上させる有意義な研修であった。

議会改革調査特別委員会で新設した「議員個人の特別研修」を、議員第1号として速やかに実行した。質問の仕方は、これまで最大の課題であった。

人口減少対策、空き家対策、農業公社運営、町づくりなど、未だに明確な方向性が見えていないのは、町長の責任が大きい。しかしこれをチェックして正しい方向に導けていない議員の責任も大きい。

9月以降の一般質問に向けて、議員各位に今回の研修成果を伝え、これまでの「緩い一般質問」から「締まった一般質問」に変えていく。本町の危機的状況を一般質問から変えていくことが、議会改革を選挙公約に掲げている私の使命でもある。



↑写真は、樋渡氏による空き家バンク課題の説明